



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツガミ

コード番号 6101 URL <http://www.tsugami.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 西嶋 尚生

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 CFO (氏名) 本間 利雄

TEL 03-3808-1711

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	27,376	48.8	3,347	130.5	2,966	180.4	2,296	214.6
29年3月期第2四半期	18,401	△13.0	1,452	9.9	1,057	24.7	730	7.4

（注）包括利益 30年3月期第2四半期 3,272百万円（－％） 29年3月期第2四半期 △252百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	39.62	38.62
29年3月期第2四半期	11.39	11.12

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
30年3月期第2四半期	58,041		36,681		(注)54.7	572.40
29年3月期	50,127		31,462		61.1	510.43

（参考）自己資本 30年3月期第2四半期 31,722百万円 29年3月期 30,620百万円

（注）非支配株主持分（津上精密機床（中国）有限公司）控除前61.9％

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
30年3月期	—	9.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	26.7	6,000	94.6	5,600	96.6	3,600	36.8	64.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 当連結会計年度より減価償却方法の変更を行っており、「会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更」に該当しています。詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	64,919,379株	29年3月期	64,919,379株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	9,498,197株	29年3月期	4,930,207株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	57,970,721株	29年3月期2Q	64,102,304株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(1) 海外売上高	12
(2) 連結販売実績	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続く中で、景気は緩やかな回復基調が続いております。また工作機械業界におきましては、国内市場、欧州・米国市場、中国市場とも総じて順調に推移しております。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は27,376百万円(前年同期比48.8%増)、営業利益は3,347百万円(同130.5%増)、経常利益は2,966百万円(同180.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,296百万円(同214.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて7,913百万円増加し、58,041百万円となりました。これは主に、現金及び預金が5,770百万円、受取手形及び売掛金が337百万円、たな卸資産が954百万円、有形固定資産が499百万円、投資有価証券が646百万円増加した一方、未収消費税等が202百万円、関係会社出資金が213百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて2,694百万円増加し、21,359百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,756百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて5,219百万円増加し、36,681百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が2,296百万円、その他の包括利益が769百万円増加したことに加え、連結子会社の香港証券取引所上場に伴う新株発行および親会社が保有する子会社株式の一部売出しにより、資本剰余金が2,487百万円および非支配株主持分が4,184百万円増加した一方、配当金の支払いにより利益剰余金が479百万円、自己株式の取得等により3,948百万円減少したことによるものです。

以上の結果、前連結会計年度末に比べ純資産は増加しておりますが、自己資本の算定においては非支配株主持分4,184百万円が含まれない影響等により、自己資本比率は54.7%と前連結会計年度末に比べ6.4%の低下となりました。なお、非支配株主持分を自己資本に含んだ場合の自己資本比率は61.9%となります。

#### ②当期のキャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて5,772百万円増加し、10,333百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、5,286百万円の増加となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益3,112百万円、減価償却費466百万円、未収消費税等の減少202百万円、仕入債務の増加2,511百万円により資金が増加した一方、たな卸資産の増加692百万円、法人税等の支払い803百万円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、75百万円の増加となりました。

これは主に、投資有価証券の売却183百万円、出資金の回収152百万円により資金が増加した一方、有形固定資産の取得251百万円により資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、339百万円の増加となりました。

これは主に、連結子会社の香港証券取引所上場に伴う新株発行4,530百万円および親会社が保有する子会社株式の一部売出し2,288百万円により資金が増加した一方、短期借入金の返済1,763百万円、自己株式の取得4,270百万円、配当金の支払い479百万円により資金が減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想は、第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ修正しております。詳細につきましては、本日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、平成30年3月期の配当金につきましては、国内外とも全般的に受注・売上が拡大してきたことに加え、自動車部品加工用に投入してきた新製品の寄与により、特需に影響を受けない業礎ができてきたことから、中間配当金及び期末配当金ともに当初予想を増額修正し、1株につき中間配当金9円、期末配当金9円、年間配当金18円としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,666	10,437
受取手形及び売掛金	9,846	10,183
商品及び製品	7,108	8,009
仕掛品	3,756	4,479
原材料及び貯蔵品	5,249	4,580
未収消費税等	718	515
繰延税金資産	488	535
その他	676	611
貸倒引当金	△41	△59
流動資産合計	32,468	39,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,636	4,970
機械装置及び運搬具（純額）	2,874	3,021
土地	450	451
リース資産（純額）	17	13
建設仮勘定	0	2
その他（純額）	217	236
有形固定資産合計	8,196	8,695
無形固定資産	649	663
投資その他の資産		
投資有価証券	7,157	7,804
関係会社株式	11	11
関係会社出資金	915	702
長期貸付金	593	589
繰延税金資産	2	6
その他	131	274
投資その他の資産合計	8,813	9,389
固定資産合計	17,659	18,748
資産合計	50,127	58,041

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,606	12,362
短期借入金	4,183	2,600
未払法人税等	525	885
前受金	905	897
賞与引当金	232	304
製品保証引当金	322	367
その他	986	1,752
流動負債合計	16,762	19,170
固定負債		
繰延税金負債	1,125	1,407
役員退職慰労引当金	22	20
退職給付に係る負債	718	729
その他	36	31
固定負債合計	1,902	2,188
負債合計	18,665	21,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,345	12,345
資本剰余金	478	2,943
利益剰余金	17,250	19,067
自己株式	△2,986	△6,935
株主資本合計	27,087	27,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,308	3,827
為替換算調整勘定	329	565
退職給付に係る調整累計額	△104	△90
その他の包括利益累計額合計	3,533	4,302
新株予約権	842	774
非支配株主持分	-	4,184
純資産合計	31,462	36,681
負債純資産合計	50,127	58,041

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,401	27,376
売上原価	13,836	20,246
売上総利益	4,565	7,129
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	765	864
貸倒引当金繰入額	—	18
賞与引当金繰入額	48	108
退職給付費用	25	28
役員退職慰労引当金繰入額	2	1
研究開発費	655	733
保険料	79	84
製品保証引当金繰入額	182	261
その他	1,353	1,682
販売費及び一般管理費合計	3,112	3,782
営業利益	1,452	3,347
営業外収益		
受取利息	10	19
受取配当金	74	77
受取賃貸料	24	6
為替差益	—	23
貸倒引当金戻入額	7	—
その他	32	27
営業外収益合計	149	154
営業外費用		
支払利息	87	103
為替差損	284	—
手形売却損	48	106
支払手数料	—	272
持分法による投資損失	60	4
その他	63	47
営業外費用合計	544	535
経常利益	1,057	2,966
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	97
関係会社出資金売却益	—	81
新株予約権戻入益	35	2
補助金収入	0	—
特別利益合計	36	183
特別損失		
固定資産除却損	18	6
固定資産売却損	0	0
ゴルフ会員権評価損	9	—
瑕疵担保責任等履行損失	—	30
特別損失合計	28	37
税金等調整前四半期純利益	1,065	3,112
法人税、住民税及び事業税	301	786
法人税等調整額	34	28
法人税等合計	335	815
四半期純利益	730	2,296
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	730	2,296

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	730	2,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	323	518
為替換算調整勘定	△1,252	442
持分法適用会社に対する持分相当額	△69	0
退職給付に係る調整額	16	14
その他の包括利益合計	△982	976
四半期包括利益	△252	3,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△252	3,272
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,065	3,112
減価償却費	471	466
新株予約権戻入益	△35	△2
株式報酬費用	56	60
補助金収入	△0	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	18
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22	72
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△30	39
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1	10
受取利息及び受取配当金	△85	△97
支払手数料	—	272
支払利息	87	103
固定資産除却損	18	6
持分法による投資損益 (△は益)	60	4
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△97
関係会社出資金売却益	—	△81
瑕疵担保責任履行損失	—	30
為替差損益 (△は益)	135	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,019	△61
たな卸資産の増減額 (△は増加)	560	△692
前渡金の増減額 (△は増加)	△75	64
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,559	2,511
前受金の増減額 (△は減少)	97	△41
未収消費税等の増減額 (△は増加)	377	202
その他	522	216
小計	5,783	6,112
利息及び配当金の受取額	73	84
利息の支払額	△125	△102
補助金の受取額	0	—
瑕疵担保責任履行に伴う支出額	—	△4
法人税等の支払額	△359	△803
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,371	5,286
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20	△20
定期預金の払戻による収入	20	20
有形固定資産の取得による支出	△95	△251
有形固定資産の売却による収入	1	6
有形固定資産の売却に係る手付金収入	137	—
有形固定資産の除却による支出	—	△2
無形固定資産の取得による支出	△9	△10
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	183
出資金の回収による収入	—	152
その他	2	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	35	75

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,515	△1,763
自己株式の売却による収入	0	168
自己株式の取得による支出	△1,955	△4,270
配当金の支払額	△535	△479
リース債務の返済による支出	△4	△4
支払手数料の支出	—	△129
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	2,288
非支配株主からの払込みによる収入	—	4,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,010	339
現金及び現金同等物に係る換算差額	△164	70
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,232	5,772
現金及び現金同等物の期首残高	4,589	4,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,821	10,333

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社である津上精密機床(中国)有限公司は、平成29年9月25日に香港証券取引所メインボード市場に上場し、新株発行および親会社が保有する子会社株式の一部売出しを行いました。この結果、資本剰余金が2,487百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金は2,943百万円となっております。

(会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社では、従来、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法については定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)ならびに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループの生産拠点は当社および中国子会社ですが、中国市場の拡大に伴い、中国子会社への生産移管を進めてまいりました。また、前連結会計年度においては、国内の生産機能を長岡工場に集約し、他の工場を売却する等、国内拠点の見直しを行いました。当連結会計年度以降、長岡工場においてはグループ内の生産・開発を統括する役割を担う方針であり、受注動向に左右されにくい安定稼働を見込んでおります。

この結果、当社および国内連結子会社の実態を反映した有形固定資産の費用配分を行うため、定率法から定額法に変更致しました。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ9百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	日本	中国	韓国	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,018	6,686	696	18,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,933	4,710	18	8,662
計	14,952	11,396	714	27,064
セグメント利益	315	1,163	17	1,495

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,495
未実現利益の消去他	△43
四半期連結損益計算書の営業利益	1,452

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	日本	中国	韓国	合計
売上高				
外部顧客への売上高	12,291	14,352	732	27,376
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,607	5,880	11	9,499
計	15,898	20,233	744	36,876
セグメント利益	676	2,610	65	3,352

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,352
未実現利益の消去他	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	3,347

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、従来、定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）ならびに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「日本」で9百万円増加しております。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

当社の連結子会社である津上精密機床(中国)有限公司は、平成29年9月25日に香港証券取引所メインボード市場に上場し、新株発行および親会社が保有する子会社株式の一部売出しを行いました。

①取引の概要

a. 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

結合当事企業の名称 津上精密機床(中国)有限公司

事業の内容 工作機械の製造販売(主たる事業法人は中国現地子会社)

b. 企業結合日

平成29年9月25日

c. 企業結合の法的形式

- ・子会社の公募による新株式発行
- ・子会社株式の売出し

d. 結合後企業の名称

変更はありません。

e. その他取引の概要に関する事項

連結子会社では新株式発行により事業資金の調達を、当社においては子会社株式の一部売出しにより投資金額の回収を目的としております。

なお、この取引により津上精密機床(中国)有限公司に対する当社の議決権所有割合は、当第2四半期連結会計期間末において75.00%となりました。

②実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、平成29年10月16日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、自己株式の消却を実施いたしました。

①消却した株式の種類 当社普通株式

②消却した株式の総数 9,919,379株

(消却前の発行済み株式の総数に対する割合 15.28%)

③消却日 平成29年10月20日

④消却後の発行済株式数 55,000,000株

(共通支配下の取引等)

当社の連結子会社である津上精密機床(中国)有限公司は、上場した香港証券取引所においてオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資を行い、平成29年10月13日に払込みが完了いたしました。

①結合当事企業の名称及び当該事業の内容

結合当事企業の名称 津上精密機床(中国)有限公司

事業の内容 工作機械の製造販売(主たる事業法人は中国現地子会社)

②企業結合日

平成29年10月13日

③企業結合の法的形式

子会社の第三者割当増資による新株式発行

④結合後企業の名称

変更はありません。

⑤その他取引の概要に関する事項

この取引により津上精密機床(中国)有限公司に対する当社の議決権所有割合は、当第2四半期会計期間末の75.00%から72.29%に変動しております。

### 3. 補足情報

#### (1) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計
I 海外売上高（百万円）	18,209	1,571	1,844	21,625
II 連結売上高（百万円）				27,376
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	66.5	5.8	6.7	79.0

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………中国、タイ、韓国、シンガポール、フィリピン、インド

(2) アメリカ……………アメリカ合衆国、メキシコ

(3) ヨーロッパ……………スイス、ドイツ、フランス、イタリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

#### (2) 連結販売実績

(百万円未満切捨)

事業の種類別	前第2四半期連結累計期間 (H28. 4. 1～H28. 9. 30)		当第2四半期連結累計期間 (H29. 4. 1～H29. 9. 30)		比較増減	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
自動旋盤	15,097	82.1	22,315	81.5	7,218	47.8
研削盤	1,605	8.7	1,823	6.7	218	13.6
マシニングセンタ	328	1.8	227	0.8	△100	△30.7
転造盤、専用機	1,235	6.7	2,855	10.4	1,619	131.1
その他	135	0.7	154	0.6	19	14.1
合計	18,401	100.0	27,376	100.0	8,974	48.8
(うち海外売上高)	(13,426)	(73.0)	(21,625)	(79.0)	(8,198)	(61.1)